



アクティビティ
サポートセンター

ゆい

生活介護事業

自分らしい生き方、
実現しませんか？

社会福祉法人ひらイルミナル



この街で安心して暮らす ～失敗してもいいよね～

家で上手に過ごせず不安を抱えていた B さん。家族の仕事を手伝うことがありましたが、家で暴れることもあり入退院を繰り返していました。家族からの暴力もあり「人から急に暴力を受けるかもしれない」という不安が B さんの中に常に存在していました。怒られることを怖がり、失敗したことを人に言えず、B さんは煩悶していました。

そんな中、地域移行支援というサービスを利用して精神科病院から退院。日中過ごす場で生活支援を受けるため、B さんはゆいへ通い始めます。当初は障害の特性で、生活する上での身の周りのことがうまくできず、トラブルも多かったのですが、私たちは関係性を大切にしながら「失敗を責めないこと」を気に留めて、支援を行いました。「失敗は誰にでもあるよね」と失敗を受け止め、一緒に原因を考え、どうしたら改善できるのか、どんなお手伝いがあればいいのと一緒に整理していきました。

誰かの役に立ちたいという気持ち、人への気遣いができる、ムードメーカー。それが B さんの強み(ステキなところ)だと知り、支援を通して関係性が深まりました。そこから B さんの中で、支援者と一緒に努力して一緒に喜びたいという気持ちが強まっていきます。

気にかけてくれる方々に心配をかけたくないという思いが原動力となり、周りの協力を得ながら、料理、掃除、洗濯、お金のやりくりなど、身の周りのこと全般に挑戦し続けました。今では、料理のレポーターも増え、映えた盛り付けの写真を見せてくれるお料理男子です。

また、バレーボールサークルを通じ、そのルールだけではなく、対人関係や社会のルールも交友関係の中で学び「バレーボールがもっと上手くなって、チームへ貢献したい」という目標ができました。他者とのコミュニケーションも積極的になり、サークルは B さんの大事な居場所となっていきました。

自分を受け止めてもらえるという安心感は、チャレンジの機会ができたという経験を増やします。そして自信や、活動の積極性へとつながります。

安心して地域で暮らせるように、これからもスタッフ一同、支えていきたいです。